

報道関係各位

2026年3月25日

ダイキン工業株式会社

フェアリーデバイス株式会社

**ダイキンとフェアリーデバイスが開発する AI エージェントが
経済産業省と NEDO 主催の「GENIAC-PRIZE」で
最高賞「第 1 位」と特別賞「AI エージェント賞」をダブル受賞**
～熟練者の暗黙知を形式知化し、空調サービス業務手順の抜け漏れをチェック～

ダイキン工業株式会社（以下、ダイキン）とフェアリーデバイス株式会社（以下、フェアリーデバイス）が取り組む「熟練者の代わりに作業者を支援する AI エージェントの開発」が、経済産業省と国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、NEDO）が主催する NEDO 懸賞金活用型プログラム「GENIAC-PRIZE」の領域 01「国産基盤モデル等を活用した社会課題解決 AI エージェント開発」の「I. 製造業の暗黙知の形式知化」において、最高賞である「第 1 位」と特別賞の「AI エージェント賞」を受賞しました。



「GENIAC-PRIZE」は、経済産業省と NEDO が国内における生成 AI 基盤モデルの開発力強化を目的に創設したプロジェクト「GENIAC」の一環として実施されるプログラムです。生成 AI サービスによる解決が望まれるテーマにおける具体的なニーズに基づき開発・実証した生成 AI アプリケーションやその実証成果が評価されるものです。

今回、ダイキンとフェアリーデバイスが開発した AI エージェントの「サービス業務全体への幅広い展開が見込める実用性」や「撮影した映像を解析するリアルタイム性」、さらに「製造現場ではなくフィールドサービスの現場で AI を活用する発想」などが評価され、受賞しました。

世界のエアコン需要が増加する中、空調機の点検や修理を行うサービスエンジニア（以下、SE）の早期育成は喫緊の課題となっています。両社が開発を進める AI エージェントは、空調サービス業務の熟練者の暗黙知を形式知化して活用し、優れたサービスエンジニアの早期育成をめざすものです。SE が装着した首掛け型ウェアラブルデバイス『THINKLET®』で撮影した作業

映像をもとに、空調機の点検・修理作業の抜け漏れを自動チェックし、その結果を SE のスマートフォンに通知します。実証実験の結果、研修施設での実験では検知精度 91%、実際の現場作業を対象とした検証では 76%の検知精度を達成しています。

両者は今後、検知精度を向上させるとともに活用可能な点検・修理業務の幅を広げ、グローバルでの本格的な活用をめざします。

【報道機関からのお問い合わせ先】

- ダイキン工業株式会社 コーポレートコミュニケーション室 広報グループ
本社 TEL : 06-6147-9923 / 東京支社 TEL : 03-3520-3100
e-mail : prg@daikin.co.jp
- フェアリーデバイス株式会社 問い合わせ窓口
e-mail : pr@fairydevices.jp